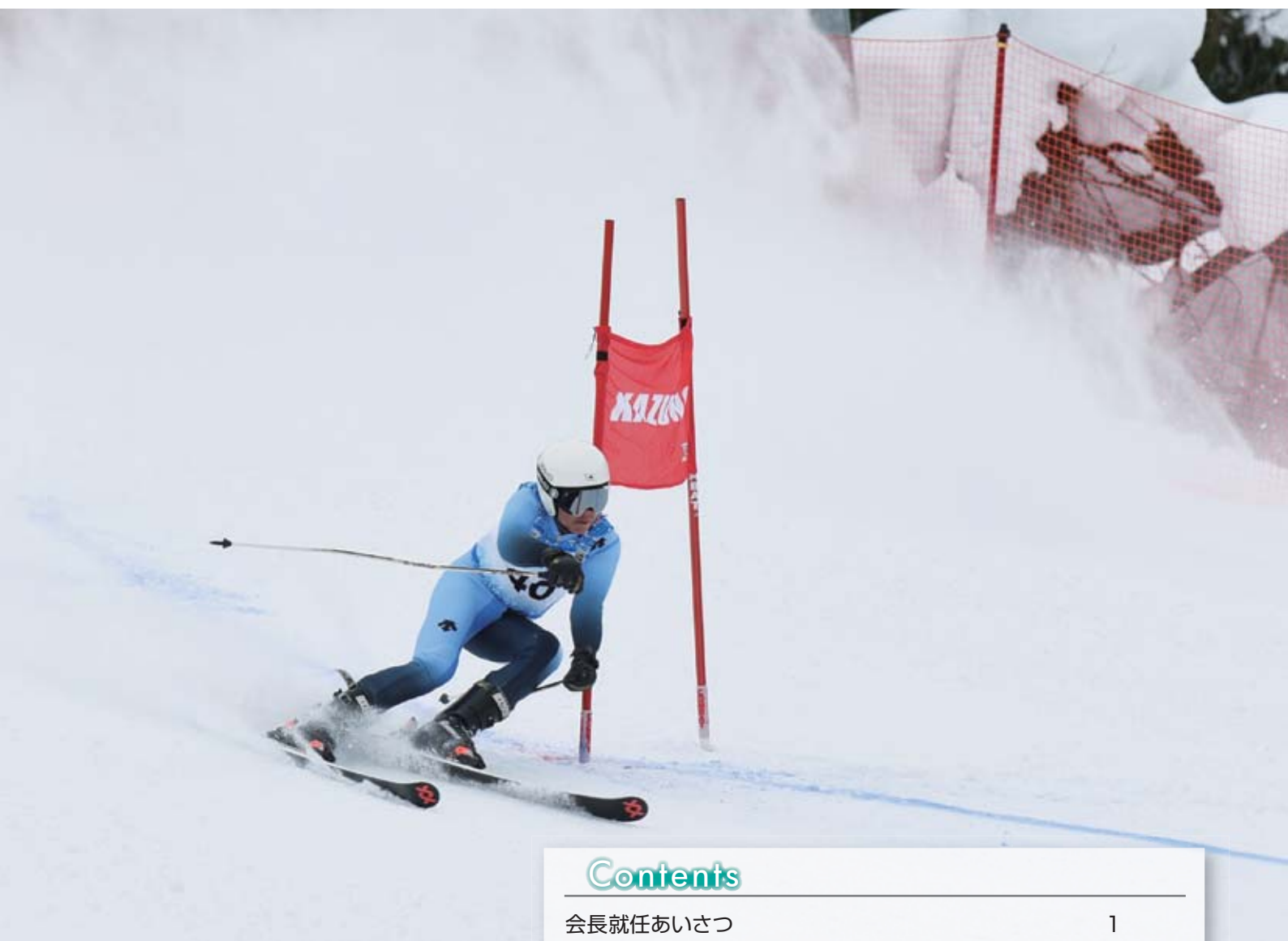


やろんで!

SPORTS とっとり

公益財団法人 鳥取県スポーツ協会広報誌

2022
March



Contents

会長就任あいさつ	1
第77回国民体育大会冬季大会鳥取県選手団の成績	2
第22回鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭の開催	3
令和3年度スポーツ少年団競技別交流大会について	4
令和3年度公益財団法人鳥取県スポーツ協会 表彰	5～11
令和3年度賛助会員一覧	12



会長就任あいさつ

公益財団法人鳥取県スポーツ協会

会長 林 昭 男

昨年11月に、中永会長の後を受けて、会長に就任しました。微力ではありますが、鳥取県のスポーツ振興に力を尽くしたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年の東京オリンピック・パラリンピックでは本県出身の選手をはじめ多くの選手の活躍があり、コロナ禍にあっても日本中を元気づけ、大いに盛り上がりました。さらに、今年2月に開催された冬季オリンピック・パラリンピックでも日本選手団は多くのメダルを獲得するなど我々に多くの感動と勇気を与えてくれました。国内でも冬の国体が2年ぶりに全競技開催され、鳥取県選手団も全国の強豪選手と競い立派な成績を上げてくれました。アスリートの競技を見、応援し、支えることを通して、個人や地域・国の枠を越えて感動を共にし人々に元気を与えるスポーツの力を体感しました。

鳥取県スポーツ協会は、公益財団法人として県内スポーツの競技力の向上、生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進、スポーツ・文化施設の管理運営などを通じて、生活の中にスポーツ文化を広げ、健康で文化的な県民生活の向上に寄与することを目的としています。国体やインターハイなどで活躍する選手の育成・競技力向上は重要な柱であり、加えて予定されている2巡目の鳥取国体（国民スポーツ大会）への準備も進める必要があります。また、2年後には全国健康福祉祭（ねんりんピック）が鳥取県で開催されます。生涯スポーツ・レクリエーション活動を推進し、楽しみながら健康維持に努め、人の輪を広げることが求められています。また、全国に先駆けて取り組んできた障がい者スポーツ協会との連携を進め、障がいのある方がスポーツに親しみ、楽しめる環境づくりに協力してまいります。

アスリートやアスリートを目指す方々、競技団体関係者、県・市町村、そして多くの県民の皆さんと一緒に、競技スポーツ、健康スポーツ、見るスポーツ、応援するスポーツなど、様々な分野でスポーツ文化を楽しむ県民スポーツの振興に努めていきたいと思います。皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

第77回国民体育大会冬季大会鳥取県選手団の成績

1 冬季大会の概要

(1) スケート競技会・アイスホッケー競技会

会 期 令和4年1月24日(月)～1月30日(日)
場 所 フィギュア：栃木県立日光霧降アイスアリーナ
(栃木県日光市)
スピード：栃木県日光市霧降スケートセンター
(栃木県日光市)
ショートトラック：今市青少年スポーツセンター
屋内スケートリンク(栃木県日光市)
アイスホッケー：栃木県日光市霧降スケートセンター他
(栃木県日光市)

派遣人数 9名(本部役員5名・監督1名・トレーナー1名・選手2名)



(2) スキー競技会

会 期 令和4年2月17日(木)～2月20日(日)
場 所 花輪スキー場(秋田県鹿角市)
派遣人数 34名(本部役員8名・監督3名・トレーナー2名・
選手21名)



2 入賞者

スキー競技 クロスカントリー 成年男子C 7位 ^{みよし}三好 ^{たかふみ}孝文

3 冬季大会終了時点での総合成績

天皇杯順位 33位 得点 32点

皇后杯順位 30位 得点 20点



区 分	男 女 総 合 成 績				女 子 総 合 成 績			
	得 点			順 位	得 点			順 位
	参加得点	競技得点	合計得点		参加得点	競技得点	合計得点	
スケート	10 (10)	0 (0)	10 (10)	30位 (27位)	10 (10)	0 (0)	10 (10)	26位 (25位)
アイス ホッケー	10 (10)	0 (0)	10 (10)	11位 (12位)				
小 計	20 (20)	0 (0)	20 (20)	30位 (27位)				
スキー	10 (10)	2 (5)	12 (15)	25位 (18位)	10 (10)	0 (5)	10 (15)	19位 (13位)
合 計	30 (-)	2 (-)	32 (-)	33位 (-位)	20 (-)	0 (-)	20 (-)	30位 (-位)

※ () 内の数字は、昨年度の状況(スキーは第76回大会が中止のため第75回大会)

第22回鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭の開催

1 概要

令和3年度は、東部地区を中心に、夏季が5種目、秋季が34種目、冬季が5種目の合計44種目を実施する予定でした。昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの第4波、第5波のため、夏季大会の5種目がすべて中止、秋季大会も5種目、冬季大会も3種目が中止となってしまいましたが、感染防止対策を十全に行いながら、31種目を実施し、各競技とも新型コロナに負けない熱戦が繰り広げられました。

2 大会開催の状況

【夏季大会】

夏季大会は、すべて中止としました。なお、水泳競技は予選を伴うスポレク祭としては中止しましたが、屋外会場（東山水泳場）であることから、周到的な感染防止対策のもとに「代替競技大会」として記録会を実施しました。

【秋季大会】

秋季大会は、集中開催日初日の10月22日は朝まで雨が残り屋外の競技の開催が危ぶまれましたが、競技開始前には雨が上がり、予定されていた種目は滞りなく実施することができました。

秋季大会の種目は、剣道等の5種目が中止となりましたが、陸上競技・卓球・バレーボール・サッカー・テニスなどの競技スポーツ種目をはじめ、ゲートボール、綱引、スポーツチャンバラ等のレクリエーション種目など29の種目が、多くの種目において例年並みの参加者を得て、東部地区をはじめ全県各地で開催されました。



【冬季大会】

冬季大会のうちスキー・スノーボード競技は、大山ホワイトリゾートで開催されました。今年は、例年以上の積雪があり、天候にも恵まれ絶好のコンディションの下で開催できましたが、県内に新型コロナ特別警報が発出され、周辺各県にも「蔓延防止等重点措置」が適用された影響で全体に参加者が少なかったため、若干寂しい大会となってしまいました。

その他、ドッジボール、ソフトバレーボール、フットサル、ラージボール卓球も、中止となりました。



令和3年度スポーツ少年団競技別交流大会について

①鳥取県スポーツ少年団剣道交流大会

期 日 令和3年10月17日(日)

会 場 北条B&G 海洋センター

参加団 6単位団

【東部地区】—

【中部地区】北条剣道スポーツ少年団・湯梨浜剣道スポーツ少年団・東伯剣道スポーツ少年団・赤碕剣道スポーツ少年団

【西部地区】大山町剣道スポーツ少年団・溝口剣道教室

参加者 (個人戦) 小学生男子 12名 小学生女子 6名

小学生合計 18名

中学生男子 16名 中学生女子 6名

中学生合計 22名

(団体戦) 大山町剣道スポーツ少年団

北条剣道スポーツ少年団

結 果 (個人戦) 小学生・男子

第1位 相見 友晴(溝口剣道教室)

第2位 岡村 陸翔(赤碕剣道スポーツ少年団)

第3位 生田 健介(湯梨浜剣道スポーツ少年団)

〃 北堀 陽大(大山町剣道スポーツ少年団)

(個人戦) 小学生・女子

第1位 松田 和(大山町剣道スポーツ少年団)

第2位 福留 実和(大山町剣道スポーツ少年団)

第3位 松本 果椰乃(東伯剣道スポーツ少年団)

〃 井勝 桃花(北条剣道スポーツ少年団)

(個人戦) 中学生・男子

第1位 松原 壮真(溝口剣道教室)

第2位 岡田 峻(大山町剣道スポーツ少年団)

第3位 相見 拓真(溝口剣道教室)

〃 坂本 蛍苺(大山町剣道スポーツ少年団)

(個人戦) 中学生・女子

第1位 永川 楽来(北条剣道スポーツ少年団)

第2位 小池 愛(大山町剣道スポーツ少年団)

第3位 川崎 凉奈(東伯剣道スポーツ少年団)

〃 後藤 あい(東伯剣道スポーツ少年団)

(団体戦) 小学生

第1位 大山町剣道スポーツ少年団

第2位 北条剣道スポーツ少年団



(交流大会の様子)

・昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、夏の野球、ミニバスケットボールの試合が中止になるなかで本年度における最初の交流事業となりました。

選手、指導者のみならず審判員や運営補助員を含む全員が

大会2週間前から検温と健康観察を行い交流大会を行いました。

競技が始まると、子ども達の活気ある声が試合会場内に響き、団員たちの剣道を通じた相互の交流ができました。

本交流大会の小学生団体戦の優勝団及び中学生個人戦(男女)優勝者は、令和4年3月に高知県で開催される「全国スポーツ少年団剣道交流大会」へ派遣することになっていましたが、残念ながら1月末日に新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会が中止となってしまいました。

②鳥取県スポーツ少年団バレーボール交流大会

期 日 令和3年12月12日(日)

会 場 鳥取県立鳥取産業体育館

参加団 12単位団(男子6団・女子6団)

【東部地区】(男子) 浜村スポーツ少年団

若葉台スポーツ少年団

(女子) 船岡バレーボールスポーツ少年団

郡家西バレーボールスポーツ少年団

【中部地区】(男子) 赤碕 SHIPS バレーボールスポーツ少年団

(女子) 社バレーボールスポーツ少年団

赤碕 SHIPS バレーボールスポーツ少年団

【西部地区】(男子) 福生東バレーボールスポーツ少年団

義方バレーボールスポーツ少年団

(女子) 伯仙少女バレーボールクラブ

加茂バレーボールスポーツ少年団

結 果 【男子】

第1位 浜村スポーツ少年団

第2位 義方バレーボールスポーツ少年団

第3位 福生東バレーボールスポーツ少年団

【女子】

第1位 社バレーボールスポーツ少年団

第2位 伯仙少女バレーボールクラブ

第3位 加茂バレーボールスポーツ少年団

郡家西バレーボールスポーツ少年団



(交流大会の様子)

・コロナ禍における二つ目の交流事業です。

大会当日は、運営の協力をいただいた「鳥取県小学生バレーボール連盟」の皆様のお陰により、最後まで白熱した試合となりました。

例年であれば、本交流大会の優勝団(女子のみ)は、令和4年3月に鳥根県で開催される「全国スポーツ少年団バレーボール交流大会」へ派遣することとなりますが、残念ながら剣道の全国大会と同様に1月末日に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大会の中止が決定しました。

令和3年度 公益財団法人鳥取県スポーツ協会 表彰

令和3年度の公益財団法人鳥取県スポーツ協会表彰の受賞者を決定しました。なお、令和3年度の表彰式は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。

優良団体賞	1団体	鳥取県ボクシング連盟（会長 斉木 正一 様）
体育功労章	6名	渡部 和幸 様 鳥取県スキー連盟 隅坂 義之 様 一般財団法人鳥取陸上競技協会 松本 秀樹 様 一般社団法人鳥取県卓球連盟 玉木 茂 様 鳥取県フェンシング協会 林原 潤 様 鳥取県カヌー協会 木村 弘史 様 鳥取県少林寺拳法連盟、境港市スポーツ協会
優秀指導者賞	4名	浅野 雄二 様 一般財団法人鳥取陸上競技協会 小原 裕司 様 一般財団法人鳥取県水泳連盟 倉本慎太郎 様 鳥取県相撲連盟 石田 宏 様 米子市スポーツ協会
特別賞	7名	三上沙也可 様 第32回オリンピック競技大会（2020/東京）出場（水泳） 富田 千愛 様 〃（ボート） 中口 遥 様 〃（ライフル射撃） 瀬川 和正 様 〃（セーリング） 池田 弘佑 様 〃（陸上） 高田 知堯 様 IFSCクライミング・ワールドカップ(B)マイリンゲン2021(スポーツクライミング) 河上 史佳 様 IFSC世界ユース選手権 ヴォロネジ2021(スポーツクライミング)
スポーツ賞	個人 31名 団体 11チーム	97名
スポーツ敢闘賞	個人 41名 団体 4チーム	34名
スポーツ奨励賞	個人 14名 団体 1チーム	4名

各賞受賞者の紹介

【優良団体賞】 継続的に活動し、優れた実績を挙げて本県スポーツの振興に多大の貢献をしたと認められる団体等

鳥取県ボクシング連盟（会長 斉木 正一 様）

わかとり国体以降、成年の部においては平成20年第63回大分国体で1人が入賞。ボクシング部がある高校は境港総合技術高校と鳥取城北高校の2校のみであったが、第71回岩手国体で少年男子優勝、第72回愛媛国体にて2位の好成績を収めた。これもひとえに、連盟のジュニアからの地道な活動が実を結んだことによる。

また、国体の女子種目導入を見据えて女子のジュニアからの強化にも力を入れるとともに、東京オリンピック選手を輩出することを目指して強化を進めた。高校生の全国優勝者を2名輩出し、そのうちの入江聖奈選手は、その後東京オリンピック金メダルを見事獲得した。併せて、シュガーナックルボクシングジムの伊田氏は入江選手と木下鈴花選手らを育て上げるとともに、令和2年度から、日本ボクシング連盟女子強化委員会委員長を務めた。

現在も、小学生のジュニア世代から強化を行い、アンダージュニアのカテゴリーで全日本チャンピオンを数名輩出している。

【体育功労章】 永年にわたり、本県のスポーツの発展のために尽瘁し功績のあった者



渡部 和幸 様
（鳥取県スキー連盟）

平成13年からクロスカントリースキー強化コーチとして選手の指導及び大会運営に貢献してきた。特に平成22年2月第65回国民体育大会からスキー競技クロスカントリー監督として、鳥取県選手団の重責を果たしている。

宮脇宏和選手が平成23年2月第66回国民体育大会クロスカントリー成年男子Cで6位入賞、平成24年2月第67回国民体育大会クロスカントリー成年男子で8位入賞と同選手を入賞に導いた。

現在もクロスカントリー監督として選手の指導に当たっている。



隅坂 義之 様
（一般財団法人鳥取陸上競技協会）

昭和50年以来、小学生・中学生の陸上競技部顧問として指導に精励し、多くの優秀な選手を育成してきた。また、鳥取陸上競技協会普及副部長及び中部地区小学生陸上クラブ（TF 倉吉）の責任者として、長きにわたり小学生の陸上

競技の指導に献身的にかかわり、現在の県下小学生クラブ（18クラブ）の基礎を築き上げた。

正に本県における小学生への陸上競技普及・強化の中心的存在である。



松本 秀樹 様
(一般社団法人鳥取県卓球連盟)

長年にわたり県卓球連盟及び倉吉市卓球協会の理事、役員として各種大会や指導者講習会、強化練習会等の開催を通じて選手の指導育成に努めてきた。併せて、自ら理事を務める公益財団法人日本卓球協会と連携して国際大会や全国大会をたびたび誘致するなど、本県卓球の競技力向上、普及発展に大きく貢献している。令和3年3月に県卓球連盟を法人化し、指導的な立場で適切な組織運営及び事業運営にあたっている。

また、現在県スポーツ協会評議員及び県スポーツ少年団副本部長を務め、県全体のスポーツの振興・発展や青少年の健全育成にも寄与している。



玉木 茂 様
(鳥取県フェンシング協会)

高校におけるフェンシング部の指導及び鳥取県フェンシング協会発展のために大変尽力した。

部顧問として、全国で活躍する選手を数多く育て、自身も日本代表監督として選出されるなど、鳥取県のみならずフェンシングの競技力向上、普及に大きな功績を残した。

また、ジュニアの育成にも力を入れ鳥取県フェンシングの底上げにも尽力した。



林原 潤 様
(鳥取県カヌー協会)

鳥取県カヌー協会理事長として長年にわたり功績を残した。わかつり国体を機に鳥取県に帰り、選手・指導者として国体優勝に導き、その後も県西部の日野川を拠点として、スラローム・ワイルドウォーターの選手の発掘育成やカヌーの普及発展に努めた。

平成16年度から今年度まで鳥取県カヌー協会理事長を務め、本県のみならず中国、四国地方のカヌー競技の普及及び発展に寄与した。



木村 弘史 様
(鳥取県少林寺拳法連盟、境港市スポーツ協会)

1981年より長きにわたり少林寺拳法の指導をし、「人づくりによる国づくり」による人材育成事業に取り組み、青少年育成に尽力され、鳥取、島根両県下に少林寺拳法の普及と発展に最前線で尽力されてきた。

少林寺拳法を通じて人脈づくり、門下生や多数の拳士に影響力を与えることができる唯一無二な存在である。

【優秀指導者賞】 長期にわたり、選手の育成強化又はスポーツの普及指導に優秀な成績をあげ、本県スポーツの発展のため顕著な功績のあった者



浅野 雄二 様
(一般財団法人鳥取陸上競技協会)

中学校の教員として、数多くの優秀選手を育成し多くの選手を全国大会で入賞させている。

現在は鳥取陸上競技協会の科学研究部長及び中体連陸上競技強化部長として本県の競技力の向上に尽力し、卓越した手腕を発揮している。

これまで指導した選手の多くは高校でも活躍し、中には全国規模の大会で入賞している選手もいる。

その指導方針は発達段階に応じた的確な指導であり、他の指導者の手本である。県内外を問わず多くの指導者からの信頼も厚く、人物・実績ともに他の模範となっている。



小原 裕司 様
(一般財団法人鳥取県水泳連盟)

長年にわたり水球競技の指導者として、選手強化・育成に貢献している。これまでの国体においても本県少年男子水球監督、コーチ、帯同トレーナーとして数々の選手の指導に携わり、多くの入賞を果たすなど卓越した指導力を発揮している。

また、本県女子水球、ジュニア水球チーム育成、強化に県水球委員長として多大な努力をし、県水球競技の選手育成の基盤を支えている。



倉本 慎太郎 様
(鳥取県相撲連盟)

長年にわたり、自身が発足に携わった「因幡相撲道場」や「鳥取西中学校相撲部」を中心に、ジュニア世代の発掘、育成、強化に尽力した。選手時代に全国トップレベルの環境で培ってきた経験を生かした熱意溢れる指導から、県内の一貫指導体制

を確立するための重要な指導者として欠かせない存在である。

また、今まで指導してきた選手の中から、日本のみならず世界でも優勝する選手を多数輩出しており、現在大相撲で活躍している石浦関もジュニア期に指導を受けた選手の一人である。



石田 宏 様
(米子市スポーツ協会)

長年にわたり、監督としてチームのために尽くしてきた。選手の技術向上に努力し、休日にチームの監督として自分の時間を削り休みなく指導してきた。

米子市少年野球大会での優勝も数多い。

【特別賞】 オリンピック大会に出場した選手並びに国際大会で優秀な成績をあげた選手。(鳥取県スポーツ最高栄冠賞、鳥取県民栄誉賞、鳥取県スポーツ顕彰の受賞対象に該当する者を除く。)

氏 名	所 属 先	大 会 名	競技名	種目名
三上紗也可	日本体育大学	第 32 回オリンピック競技大会 (2020/ 東京)	水泳 (飛込)	女子 3m 飛板飛込
富田 千愛	福井県スポーツ協会	第 32 回オリンピック競技大会 (2020/ 東京)	ボート	女子軽量級ダブルスカル
中口 遥	滋賀ダイハツ販売	第 32 回オリンピック競技大会 (2020/ 東京)	ライフル射撃	エアライフル、混合エアライフル
瀬川 和正	鳥取県スポーツ協会	第 32 回オリンピック競技大会 (2020/ 東京)	セーリング	フィン級
池田 弘佑	あすなる会	第 32 回オリンピック競技大会 (2020/ 東京)	陸上競技	男子 4 × 400m リレー
高田 知亮	鳥取県スポーツ協会	IFSC クライミング・ワールドカップ (B) マイリンゲン 2021	スポーツクライミング	男子ボルダリング
河上 史佳	鳥取市立北中学校	IFSC 世界ユース選手権 ヴォロネジ 2021	スポーツクライミング	女子スピード

【スポーツ賞 (個人)】 当該年度の全国大会等において、上位に入賞した選手又はチーム

競 技	氏 名	勤務先・学校名	大 会 名	成績
陸上競技	角 良子	倉吉東高校 3 年	2021 全国高等学校リモート陸上競技選手権大会	1
			第 74 回全国高等学校陸上競技対校選手権大会	2
	谷口 陽向	鳥取城北高校 1 年	第 52 回 U16 陸上競技大会	2
	玉木 来輝	境港市第三中学校 3 年	第 52 回 U16 陸上競技大会	3
	衣笠 瑛一	倉吉東高校 3 年	2021 全国高等学校リモート陸上競技選手権大会	3
ボート	池田 弘佑	あすなる会	第 69 回全日本実業団対抗陸上選手権大会	3
	橋本 理史	米子市後藤ヶ丘中学校 2 年	第 41 回全日本中学選手権競漕大会	1
	船澤 奈菜	米子市湊山中学校 2 年	第 41 回全日本中学選手権競漕大会	3
	澄川 由汰	鳥取市中ノ郷中学校 2 年	第 41 回全日本中学選手権競漕大会	2
	安木光太郎	鳥取大学附属中学校 2 年	第 41 回全日本中学選手権競漕大会	2
レスリング	鳥目 裕太	鳥取中央育英高校 3 年	全国高等学校総合体育大会	3
	中野 咲羅	鳥取大学附属中学校 3 年	2021 東京都知事杯全国中学選抜大会	1
ウェイトリフティング	松本 涼祐	米子工業高校 3 年	全国高等学校総合体育大会	2
自転車	青木 瑞樹	中央大学 4 年	第 76 回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	1
			第 61 回全日本学生選手権トラック自転車競技大会	3
	保田 浩輔	中央大学 4 年	第 76 回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	1
	中原 航大	法政大学 4 年	第 76 回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	3
	山根 慶太	鹿屋体育大学 4 年	第 76 回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	2
	道祖尾大輝	中央大学 1 年	第 61 回全日本学生選手権トラック自転車競技大会	3
	林原 聖真	倉吉東高校 3 年	全国高等学校総合体育大会	1
			全国高等学校総合体育大会	3
ソフトテニス	濱口 夕海	倉吉西高校 3 年	2021 年全日本自転車競技選手権大会ジュニア・トラックレース	3
	吉川 理梨	米子松蔭高校 3 年	全日本高等学校ソフトテニス選手権大会	3
	山本 乙葉	米子松蔭高校 2 年	全日本高等学校ソフトテニス選手権大会	3
相撲	落合 哲也	鳥取城北高校 3 年	第 99 回全国高等学校相撲選手権大会	1
	アルタンゲル・ソルフ	鳥取城北高校 2 年	第 99 回全国高等学校相撲選手権大会	3
	松本 渚	立命館大学 4 年	第 26 回全日本女子相撲選手権大会	1
	長門 美咲	鳥取城北高校 3 年	第 26 回全日本女子相撲選手権大会	3
	井野 響稀	琴浦町東伯中学校 2 年	第 51 回全国中学校相撲選手権大会	2
スポーツクライミング	河上 史佳	鳥取市北中学校 3 年	スポーツクライミング第 4 回スピードジャパンカップ	1
	林 かりん	鳥取中央育英高校 2 年	スポーツクライミング第 2 回スピードユース日本選手権	1
カヌー	長尾 葉花	倉吉総合産業高校 3 年	全国高等学校総合体育大会	2
	福本かな子	米子白鳳高校教員	2021 カヌーワイルドウォータージャパンカップ第 1 戦	2
	山本 悠太	倉吉市河北中学校 1 年	JOC ジュニアオリンピックカップ全国中学生カヌー大会	3

【スポーツ賞 (団体)】

競 技	団体 (チーム) 名	氏 名	勤務先・学校名	大 会 名	成績
水泳 (水球)	鳥取中央育英高校	北中 佑介	鳥取中央育英高校 3 年	全国高等学校総合体育大会水泳競技大会	3
		山根 宏太	鳥取中央育英高校 3 年		
		田中 海斗	鳥取中央育英高校 3 年		
		植村 陽	鳥取中央育英高校 3 年		
		磯江 裕行	鳥取中央育英高校 3 年		
		栗谷 逸斗	鳥取中央育英高校 3 年		

水泳（水球）	鳥取中央育英高校	山根 良太	鳥取中央育英高校 3 年	全国高等学校総合体育大会水泳競技大会	3
		谷尾 空大	鳥取中央育英高校 3 年		
		木村 昂瑠	鳥取中央育英高校 3 年		
		小林 環	鳥取中央育英高校 2 年		
		谷岡 真	鳥取中央育英高校 2 年		
		高田 零央	鳥取中央育英高校 1 年		
		福島 彰真	鳥取中央育英高校 1 年		
サッカー	米子北高校サッカー部	西山 飛源	米子北高校 2 年	全国高等学校総合体育大会	2
		渡部 颯斗	米子北高校 3 年		
		鈴木慎之介	米子北高校 3 年		
		牧野 零央	米子北高校 3 年		
		海老沼慶士	米子北高校 3 年		
		野田 徹生	米子北高校 2 年		
		木村 愛斗	米子北高校 3 年		
		山中 奨	米子北高校 3 年		
		福田 秀人	米子北高校 2 年		
		佐野 航大	米子北高校 3 年		
		片山 颯人	米子北高校 3 年		
		小橋川海斗	米子北高校 2 年		
		飯島 巧貴	米子北高校 3 年		
		中井 唯斗	米子北高校 2 年		
		原 佳太郎	米子北高校 3 年		
ホッケー	八頭高校	橋本 淳史	米子北高校 3 年	全国高等学校総合体育大会ホッケー選手権大会	3
		山田 陽介	米子北高校 3 年		
		加藤 実梨	八頭高校 3 年		
		田淵 美羽	八頭高校 3 年		
		小坂 真子	八頭高校 3 年		
		石田 紗千	八頭高校 2 年		
		今嶋 綾菜	八頭高校 2 年		
		澤田 佳歩	八頭高校 2 年		
		勝原 心	八頭高校 2 年		
		宮本 彩加	八頭高校 2 年		
		大西こころ	八頭高校 1 年		
		豊田 小桜	八頭高校 1 年		
		高木 陽向	八頭高校 1 年		
		山本 蒼衣	八頭高校 1 年		
		砂場 陽咲	八頭高校 1 年		
ホッケー	八頭高校	佐々木陽野	八頭高校 1 年	第 53 回全国高等学校選抜ホッケー大会	3
		市村 花梨	八頭高校 1 年		
		加藤 颯大	八頭高校 3 年		
		倉持 大稀	八頭高校 3 年		
		田中 拓斗	八頭高校 3 年		
		山根 成人	八頭高校 3 年		
		武田 元希	八頭高校 3 年		
		林 央人	八頭高校 3 年		
		山本 泰瑠	八頭高校 2 年		
		山中 惇生	八頭高校 2 年		
		大西 彩太	八頭高校 2 年		
		伊藤 優汰	八頭高校 2 年		
		中尾 萌玖翔	八頭高校 2 年		
		馬場 風和	八頭高校 1 年		
		中野翔太郎	八頭高校 1 年		
ホッケー	八頭中学校	原田 煌久	八頭高校 1 年	第 51 回全日本中学生ホッケー選手権大会	1
		小山 桜璃	八頭高校 1 年		
		高木 裕翔	八頭高校 1 年		
		道端 晴也	八頭中学校 3 年		
		宮脇 壮史	八頭中学校 3 年		
		大西 礼斗	八頭中学校 3 年		
		今嶋 照道	八頭中学校 3 年		
		土井 歩夢	八頭中学校 3 年		
		井上 息吹	八頭中学校 3 年		
ホッケー	八頭中学校	柳原 一輝	八頭中学校 2 年	第 51 回全日本中学生ホッケー選手権大会	1
		中口 一輝	八頭中学校 2 年		
		藤田 大獅	八頭中学校 2 年		

ホッケー	八頭中学校	小坂 洋介	八頭中学校 2 年	第 51 回全日本中学生ホッケー選手権大会	1
		歳岡 煌大	八頭中学校 2 年		
		細田 哲平	八頭中学校 2 年		
相 撲	鳥取県選抜	新田 尚寛	琴浦町東伯中学校 3 年	第 32 回全国都道府県中学生相撲選手権大会	3
		加嶋 展喜	琴浦町東伯中学校 3 年		
		西村 和真	琴浦町東伯中学校 2 年		
		井野 響稀	琴浦町東伯中学校 2 年		
	鳥取城北高校	アルタンゲルソルフ	鳥取城北高校 2 年	第 99 回全国高等学校相撲選手権大会	1
		河本 優聖	鳥取城北高校 2 年		
		落合 哲也	鳥取城北高校 3 年		
		成田 力道	鳥取城北高校 2 年		
		成松祐乃介	鳥取城北高校 2 年		
		岩本 真輝	鳥取城北高校 3 年		
		松井奏風人	鳥取城北高校 2 年		
	鳥取県選抜 D	田村 瑠菜	鳥取城北高校 2 年	第 26 回全日本女子相撲選手権大会	2
		中村 凜	日本大学 1 年		
		古閑 詩織	日本大学 2 年		
	鳥取県選抜 A	長門 美咲	鳥取城北高校 3 年	第 26 回全日本女子相撲選手権大会	3
		角田 奈那	日本大学 2 年		
		大上 詩乃	鳥取城北高校 3 年		
	鳥取県選抜 B	川崎羽華那	鳥取城北高校 2 年	第 26 回全日本女子相撲選手権大会	3
		石川 玲愛	鳥取城北高校 3 年		
		松本 渚	立命館大学 4 年		
	鳥取城北高校	落合 哲也	鳥取城北高校 3 年	第 105 回高等学校相撲金沢大会	1
		成田 力道	鳥取城北高校 2 年		
		アルタンゲルソルフ	鳥取城北高校 2 年		
		小坂 憲史	鳥取城北高校 3 年		

【スポーツ敢闘賞（個人）】 当該年度の全国大会等において、入賞し敢闘した選手又はチーム

競 技	氏 名	勤務先・学校名	大 会 名	成績
スキー	三好 孝文	陸上自衛隊米子駐屯地	第 77 回国民体育大会冬季大会スキー競技会	7
陸上競技	石坂 力成	鳥取県スポーツ協会	第 105 回日本陸上競技選手権大会	4
			第 69 回全日本実業団対抗陸上選手権大会	5
	金子 りん	鳥取市桜ヶ丘中学校 3 年	第 67 回全日本中学通信陸上競技大会	4
	井上 詞倭	鳥取中央育英高校 1 年	第 52 回 U16 陸上競技大会	5
	福嶋ひなた	鳥取中央育英高校 2 年	2021 全国高等学校リモート陸上競技選手権大会	5
	坂口ジャスミン	倉吉北高校 3 年	2021 全国高等学校リモート陸上競技選手権大会	5
	山根 幸輝	若桜町若桜学園 3 年	第 52 回 U16 陸上競技大会	6
	大下 智矢	米子市淀江中学校 3 年	第 52 回 U16 陸上競技大会	8
	池田 弘佑	あすなろ会	第 105 回日本陸上競技選手権大会	6
	赤穂 弘樹	まなびや園	第 105 回日本陸上競技選手権大会	6
			第 69 回全日本実業団対抗陸上選手権大会	6
	多田 一葉	まなびや園	第 69 回全日本実業団対抗陸上選手権大会	6
	田口あみか	倉吉東高校 3 年	2021 全国高等学校リモート陸上競技選手権大会	7
			第 74 回全国高等学校陸上競技対校選手権大会	8
	玉木 来輝	境港市第三中学校 3 年	第 48 回全日本中学校陸上競技選手権大会	7
水 泳	湯川 玲之	岩美高校 3 年	第 74 回全校高等学校陸上競技対校選手権大会	8
	中井 啓太	環太平洋大学 3 年	第 90 回日本学生陸上競技対校選手権大会	8
	上杉 了以	米子北高校 1 年	第 44 回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季競技水泳大会	6
	宮城 歩優	鳥取城北高校 2 年	第 44 回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季競技水泳大会	6
ボート	上杉 凜	米子市福米中学校 2 年	第 44 回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季競技水泳大会	6
	佐々木音華	米子東高校 1 年	第 89 回日本高等学校選手権水泳競技大会	4
	石倉 莉子	米子市湊山中学校 2 年	第 41 回全日本中学選手権競漕大会	4
	木下ふあり	米子市弓ヶ浜中学校 2 年	第 41 回全日本中学選手権競漕大会	4
	杉原 春菜	米子西高校 2 年	全国高等学校総合体育大会第 69 回全日本高等学校選手権競漕大会	5
	岡本 成世	鳥取市東中学校 2 年	第 41 回全日本中学選手権競漕大会	7
	金谷 青和	鳥取市湖東中学校 2 年	第 41 回全日本中学選手権競漕大会	8
レスリング	磯江 大成	鳥取中央育英高校 3 年	全国高等学校総合体育大会	5
自転車	吉田英美加	倉吉西高校 3 年	全国高等学校総合体育大会	5
			2021 年全国日本自転車競技選手権大会ジュニア・トラックレース	6
	川上 桜	倉吉総合産業高校 3 年	全国高等学校総合体育大会	7
	釜田 佳典	倉吉総合産業高校 3 年	全国高等学校総合体育大会	8
	美甘星次郎	早稲田大学 1 年	第 61 回全日本学生選手権トラック自転車競技大会	6

相 撲	落合 哲也	鳥取城北高校 3 年	第 105 回高等学校相撲金沢大会	5
			第 70 回全日本相撲選手権大会	5
	田村 仁愛	鳥取城北高校 2 年	第 26 回全日本女子相撲選手権大会	5
	新阜 夏夢	鳥取市西中学校 2 年	第 18 回全日本中学生女子相撲大会	5
	西村 和真	琴浦町東伯中学校 2 年	第 30 回全国都道府県中学生相撲選手権大会	5
馬 術	青戸 彬真	米子東高校 3 年	全日本ジュニア障害飛越大会	4
弓 道	大石 幸司	若桜町役場	第 72 回全日本弓道遠的選手権大会	5
	漆原 稜大	倉吉西高校 2 年	全国高等学校総合体育大会第 66 回全国高等学校弓道大会	6
スポーツ クライミング	金谷 春佳	鳥取西高校 1 年	スポーツクライミング第 4 回スピードジャパンカップ	4
	多月萌々菜	鳥取中央育英高校 1 年	スポーツクライミング第 2 回スピードユース日本選手権	5
カヌー	都田 祐道	境港市役所	2021 カヌーワイルドウォータージャパンカップ第 1 戦	8
	山柊 寛大	倉吉総合産業高校 3 年	全国高等学校総合体育大会	8
	川本 円花	湯梨浜町湯梨浜中学校 1 年	JOC ジュニアオリンピックカップ全国中学生カヌー大会	8

【スポーツ敢闘賞（団体）】

競 技	団体（チーム）名	氏 名	勤務先・学校名	大 会 名	成績
相 撲	琴浦町立東伯中学校	新田 尚寛	琴浦町東伯中学校 3 年	第 51 回全国中学校相撲選手権大会	5
		加嶋 展喜	琴浦町東伯中学校 3 年		
		井野 響稀	琴浦町東伯中学校 2 年		
		西村 和真	琴浦町東伯中学校 2 年		
		原田 幸征	琴浦町東伯中学校 2 年		
ソフトボール	鳥取城北高校	池口七乃葉	鳥取城北高校 3 年	全国高等学校総合体育大会	5
		寺西 真梨	鳥取城北高校 3 年		
		櫻田 采音	鳥取城北高校 3 年		
		久野日花里	鳥取城北高校 3 年		
		西田穂乃花	鳥取城北高校 3 年		
		松本ひなの	鳥取城北高校 3 年		
		秋山 笑梨	鳥取城北高校 3 年		
		福井 杏奈	鳥取城北高校 2 年		
		大迫 心華	鳥取城北高校 2 年		
		倉本 正美	鳥取城北高校 2 年		
		北村 梨央	鳥取城北高校 2 年		
		桑原 瑠加	鳥取城北高校 1 年		
		片岡 寧音	鳥取城北高校 1 年		
		延明 小遥	鳥取城北高校 1 年		
		青木咲和佳	鳥取城北高校 1 年		
弓 道	倉吉西高校	藤本 結衣	鳥取城北高校 1 年	全国高等学校総合体育大会第 66 回全国高等学校弓道大会	7
		香川 心来	鳥取城北高校 1 年		
		牧田 萌花	倉吉西高校 3 年		
		宮川 和夏	倉吉西高校 3 年		
		川口 瑞歩	倉吉西高校 3 年		
		西田 有希	倉吉西高校 2 年		
		西古 愛唯	倉吉西高校 2 年		
カヌー	倉吉総合産業高校	松田 紗来	倉吉西高校 2 年	全国高等学校総合体育大会	5
		長尾 葉花	倉吉総合産業高校 3 年		
		北村 まい	倉吉総合産業高校 3 年		
		松原 千広	倉吉総合産業高校 3 年		
	倉吉総合産業高校	小椋妃奈子	倉吉総合産業高校 3 年	全国高等学校総合体育大会	8
		山柊 寛大	倉吉総合産業高校 3 年		
		福本 柊人	倉吉総合産業高校 3 年		

【スポーツ奨励賞（個人）】 当該年度の職域又は特別の出場制限を設けた全国大会等において、上位に入賞した選手又はチーム。ただし、小学生にあっては大会規定に定める入賞とする

競 技	氏 名	勤務先・学校名	大 会 名	成績
水 泳	福田 倖希	米子市成実小学校 4 年	第 44 回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季競技水泳大会	3
	野坂 律季	米子市箕蚊屋小学校 4 年	第 44 回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季競技水泳大会	5
ソフトテニス	中井 克彦		全日本ミックスダブルス選手権大会	3
	相澤真里子		全日本ミックスダブルス選手権大会	3
卓 球	土江亜依美	米子工業高等専門学校 2 年	第 56 回全国高等専門学校体育大会	1
			第 56 回全国高等専門学校体育大会	2
	中島 奈々	米子工業高等専門学校 2 年	第 56 回全国高等専門学校体育大会	2
	柳原 武志	米子工業高等専門学校 5 年	第 56 回全国高等専門学校体育大会	2

競 技	氏 名	勤務先・学校名	大 会 名	成績
相撲	河本 優也	大山町中山小学校 6 年	第 36 回わんぱく相撲全国大会	5
バドミントン	山根 康平	米子工業高等専門学校 5 年	第 56 回全国高等専門学校体育大会	3
剣 道	三浦 真歩	米子工業高等専門学校 2 年	第 56 回全国高等専門学校体育大会	2
カヌー	石坂 仁	倉吉市小鴨小学校 4 年	全国少年少女カヌー大会	3
空手道	須田 一冴	鳥取市湖山西小学校 1 年	第 21 回全日本少年少女空手道選手権大会	3
	田中友侑子	鳥取市宮ノ下小学校 5 年	第 21 回全日本少年少女空手道選手権大会	5
	中田 琉菜	鳥取市浜坂小学校 6 年	第 21 回全日本少年少女空手道選手権大会	5

【スポーツ奨励賞（団体）】

競 技	団体（チーム）名	氏名	勤務先・学校名	大会名	成績
陸上競技	米子工業高等専門学校	佐々木陽菜	米子工業高等専門学校 1 年	第 56 回全国高等専門学校体育大会	3
		矢田ほのか	米子工業高等専門学校 4 年		
		竹下みらん	米子工業高等専門学校 2 年		
		妹原 七虹	米子工業高等専門学校 5 年		

他団体表彰の受賞者

○文部科学大臣表彰

生涯スポーツ功労者

穴戸 靖雄 様 鳥取県水泳連盟専務理事
都田 祐道 様 鳥取県カヌー協会強化部長
小原 工 様 鳥取県トライアスロン協会理事等

生涯スポーツ優良団体（クラブ）

一般社団法人ほうきスマイリースポーツクラブ
大山サッカークラブスポーツ少年団

生涯スポーツ優良団体（クラブ以外）

鳥取県スキー連盟
鳥取県ボクシング連盟

○鳥取県教育委員会表彰

団 体

鳥取県スキー連盟
鳥取県空手道連盟
サンリンク・スポーツ

団体役職員

土橋 義親 様 鳥取県ホッケー協会副会長
源 憲治 様 鳥取県バドミントン理事長
濱田 和久 様 鳥取県レスリング副会長
遠藤 幸久 様 鳥取陸上競技協会強化部長
阿部 幸久 様 鳥取県セーリング連盟強化部長
山根 俊一 様 鳥取県アーチェリー協会理事長

○日本スポーツ少年団顕彰

市区町村 岩美町スポーツ少年団

登録者 杉上 恒男 様 北条バドミントンスポーツ少年団

○鳥取県スポーツ少年団表彰

団 体 大山町剣道スポーツ少年団

永年指導者 前田 義美 様 北条バレーボールスポーツ少年団
長原 直人 様 岸本柔道スポーツ少年団

○エネルギースポーツ表彰

渡邊 幸久 様 鳥取県セーリング連盟

令和3年度 賛助会員一覧

【団体会員】

一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会
医療法人 養和会
医療法人社団 赤碕診療所
栄和電気工事有限会社
NPO法人 皆生ライフセービングクラブ
えびす本郷株式会社
大久保体器株式会社
皆生タクシー株式会社
株式会社 SC鳥取
株式会社 懸樋工務店
株式会社 衣笠商会 鳥取支店
株式会社 吉備総合電設
株式会社 共栄組
株式会社 九櫻
株式会社 グリーンテクノクリエイト
株式会社 KODANI きっぺい
株式会社 山陰合同銀行
株式会社 昭和電設
株式会社 大丸水機
株式会社 中電工 鳥取統括支社
株式会社 チュウブ
株式会社 トイント
株式会社 徳田商店
株式会社 鳥取グリーン
株式会社 戸信
株式会社 原田建設
株式会社 ヤマネ産機
株式会社 渡辺造園
クリヤマジャパン株式会社
公立学校共済組合鳥取宿泊所
寿製菓株式会社
境港商工会議所
山陰アシックス工業株式会社

山陰警備保障株式会社
山陰リネンサプライ株式会社
サンクリーン株式会社
サンユー技研工業株式会社
三和商事株式会社
社会福祉法人 こうほうえん
シュガーナックルボクシングジム
全国共済農業協同組合連合会鳥取県本部
総合印刷出版株式会社
ダイドーベンディングジャパン株式会社
大和建設株式会社
大和設備株式会社
高林産業株式会社
中国電力株式会社 鳥取支社
東亜道路工業株式会社 中四国支社
東商アソシエート株式会社
特定非営利活動法人 ゆうゆうスポーツ王国
鳥取信用金庫
鳥取ペプシコーラ販売株式会社
トヨタカローラ鳥取株式会社
日本フィールドシステム株式会社
日ノ丸産業株式会社
富士総合警備保障株式会社
堀田石油株式会社
美保テクノス株式会社
やまこう建設株式会社
有限会社 猪飼弓具店
有限会社 コウメイ
有限会社 タイヤステーションダブリュー
有限会社 福井印刷
有限会社 増谷慶一郎薬局
米子ガス産業株式会社
米子信用金庫

【個人会員】

上田 秀美
潮 誠司
大村 匡由
岸本 信一
高橋 哲夫
藤井 喜臣
増谷 立夫
水野 一久

※あいうえお順（敬称は省略させていただきます。）、希望者のみ掲載しています。
※令和4年2月25日受付分まで

小さな掛金、大きな補償

スポーツ安全保険®



4名以上の団体・グループで
ご加入ください。

保険期間

令和4年4月1日午前0時から
令和5年3月31日午後12時まで

保険内容

詳しい保険の内容は、
ホームページなどをご覧ください。

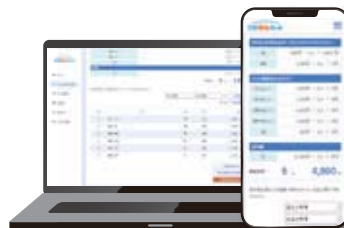
スポあんネット
＼スマホにも対応／

だれでも かんたんに 便利に 使いやすく
全面リニューアル！！

加入区分・掛金

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)
子ども (中学生以下)	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円
大人 (高校生以上)	スポーツ活動(指導・審判を含む) ●A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 64歳以下	1,850円
		B 65歳以上	1,200円
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	A2	800円
全年齢	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000円
子ども (中学生以下)	個人活動補償型 A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
大人 (高校生以上)	個人活動補償型 C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW 64歳以下 WEB加入限定	4,850円
	個人活動補償型 B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW 65歳以上 WEB加入限定	5,000円

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。 年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。
(注)C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和4年4月1日」を基準とします。



スムーズな掛金支払い



次年度の手続きがラク



履歴管理、事故通知も



スポーツ安全協会 鳥取県支部

TEL 0857-26-7802 電話受付時間 午前9時～午後5時(土、日、祝日を除く。)



スポーツ安全保険 検索



LINE 公式アカウント

友だち募集中！

本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)へお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室 ☎ 0120-233-801
(平日9:00～17:00)

〈共同引受保険会社(令和4年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保